

十月二十一日午前十時ヨリ臺灣第七十一部隊營庭ニ於テ基隆要塞司令官陸軍少將山縣栗花生觀閲官トナリ、臺灣第七十一部隊陸軍中佐篠原直衛ヲ諸兵指揮官トシ、紀元二千六百年記念觀兵式ヲ施行シ、嚴肅ニ終了ス。

第五十五 屏東衛戍地

十月二十一日午前十時ヨリ臺灣第三十一部隊廣場ニ於テ臺灣第七十二部隊長陸軍大佐城戸俊一觀閲官トナリ、臺灣第三十一部隊大隊長陸軍少佐大久保幸平ヲ諸兵指揮官トシ、紀元二千六百年記念觀兵式ヲ施行ス。

參加部隊ハ在屏東衛戍地諸部隊ニシテ、其ノ他男女中等學校生徒、在郷軍人參加シ、嚴肅裡ニ終了ス。

尙ホ當日正午臺灣第七十二部隊營庭ニ於テ禮砲式ヲ施行ス。

第五十六 澎湖島衛戍地

十月二十一日午前十時ヨリ同地練兵場ニ於テ澎湖島要塞司令官陸軍少將風早清觀閲官トナリ、臺灣第七十三部隊長陸軍中佐山脇茂司郎ヲ諸兵指揮官トシ、紀元二千六百年記念觀兵式ヲ施行ス。

參加部隊ハ在澎湖島衛戍地諸部隊ニシテ、其ノ他部外團體五百餘名參加シ、嚴肅裡ニ終了ス。

第五十七 其ノ他

其ノ他右以外ノ内地・朝鮮・臺灣ノ諸衛戍地ニ於テモ嚴肅ニ紀元二千六百年記念觀兵式ヲ施行ス。

第二編 紀元二千六百年特別觀艦式

第一章 序 說

光輝アル紀元二千六百年ヲ迎へ、官民ヲ舉ゲテ一大祝典ヲ催シ奉祝ノ赤誠ヲ捧ゲ奉ラントノ熱意朝野ニ澎湃トシテ湧キ起リ、政府ニ於テハ之ガ方法其ノ他ノ計畫ヲ策定スルタメ昭和十年十月内閣ニ紀元二千六百年祝典準備委員會ヲ設置シタリ。同委員會ニ於テハ紀元二千六百年奉祝ニ關スル各方面ノ意向ヲ參酌シ慎重ニ調査審議シテ銳意祝典ノ大綱策立ニ努力シ、翌昭和十一年二月「紀元二千六百年祭典祝典其ノ他奉祝記念事業等準備要綱」ヲ決定シタリ、其ノ中ニ於テ諸他奉祝行事及奉祝記念事業ト共ニ大觀艦式ヲ舉行セラレ、情勢ニ依リ觀艦式ヲ舉行スルコト能ハザルトキハ艦隊ヲシテ紀元二千六百年祝典ニ參列セシメラレタキコトヲ議決シ、之ヲ政府ニ報告スルトコロアリタリ。同十一年七月新ニ官制ヲ以テ内閣ニ紀元二千六百年祝典評議委員會ガ設置セラレ、準備委員會ニ於テ議決セル後ヲ承ケ、前述祝典準備要綱ニ於テ決定セラレタルトコロヲ擴充シテ奉祝ノ要綱及記念事業ノ決定ニ就キ調査審議ヲ重ネ、昭和十四年七月紀元二千六百年祝典實施要綱ヲ議決シテ祝典ノ大綱ヲ定メ、觀艦式ニ關シテモ準備委員會ト同ジク艦隊ノ參列トナルベキコトヲアランモ紀元二千六百年祝典ノ最も重要ナル奉祝行事ノ一トシテ舉行セラレタキコトトシ之ヲ政府ニ報告セリ。政府ニ於テ右報告ニ基キ同年八月閣議ヲ經テ紀元二千六百年祝典ニ關スル件ヲ決定シ、茲ニ於テ之等一聯ノ奉祝行事ト共ニ觀艦式ヲ舉行セラルルヤウ海軍側ニ申進ム

ルコトトセリ。

帝國海軍ニ於テハ國際情勢及支那事變處理ノ狀況ヲ許ス限リ觀艦式ヲ實施シ、紀元二千六百年奉祝ニ當リ國威ノ宣揚ヲ圖リ艦隊ノ整齊・士氣ノ昂揚ニ資スルコロアラントシ、唯國際情勢ノ變化ニ依リテハ規模ヲ縮小シテ單ニ艦隊ノ參列トスルカ若クハ又全然中止スベキコトアルヤモ圖リ難キヲ考慮シ、之ニ對應スベキ用意ヲ萬全ニスルト共ニ世界情勢ノ推移ヲ視ツツ觀艦式舉行ノ準備ヲモ亦遺憾ナク取進メタリ。

第二章 準備及諸施設

第一節 方針

第一項 稱呼及形式

觀艦式ニハ特別觀艦式及大演習觀艦式ノ二種類アリ。特別觀艦式ハ國家ノ大典等ニ當リ舉行スルモノニシテ、其ノ典禮ニ因ミ名稱ヲ附スルヲ得、大演習觀艦式ハ大演習又ハ特別大演習ノ終期ニ於テ舉行スルモノニシテ演習ノ呼稱ニ從ヒ名稱ヲ附スルコトトセラル。本觀艦式ハ紀元二千六百年ヲ奉祝スルヲ主タル目的トスルモノナルヲ以テ特別觀艦式トスルヲ適當トシ、「紀元二千六百年特別觀艦式」トスルヲ至當トスベキモ、恰モ當年帝國海軍ニ於テハ特別大演習ヲ實施スベキコトニ内定シタルヲ以テ、形式ハ特別觀艦式トスルモ、名稱ハ兩者相兼ネシメテ之ヲ「紀元二千六百年特別大演習觀艦式」トスルコトトシテ準備ヲ進メ上奏御裁可ヲ經タリ。然ルトコロ後ニ至リ本來ノ通り「紀元二千六百年特別觀艦式」トスルコトトセラレ、昭和十五年九月十二日此ノ旨軍令部總長ヨリ上奏シ、御裁可ヲ仰ギタリ。

尙ホ本觀艦式ニ參列スベキ兵力ニ關シテハ當年觀艦式ヲ舉行シ得ベキ情勢ナルトキハ當然海軍大演習或ハ小演習ハ實施セラルベキニ由リ、觀艦式參列兵力ハ概ネ大演習參加部隊及練習航空部隊ノ一部ヲ加フルコトトシテ計畫セリ。

觀艦式實施ノ方法トシテハ移動觀艦式及碇泊觀艦式アルモ、移動觀艦式ハ豫行及實施ニ莫大ノ燃料ヲ要シ、且